

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、
花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし
の碑（初代PTA会長盛合聡の揮毫）がある。

モラトリアム

校長 兼 平 栄 補

今年度の就職内定率は、76.9%に達している。昨年同期は、90%で未内定者が8名だったことを考えると厳しい結果となっている。ただし、当初の想定よりは良好で、比較的健闘しているとの見方もある。引き続き全員の進路目標達成に向け指導中であるが、特に県外の2次募集の枠が少なく、厳しい競争となり苦戦を強いられている。

このような進路をめぐる環境の中で、懸念されるのは、「モラトリアム型」進路選択や進路変更である。

マスコミでもネットでも、亀井静香金融相が提唱している中小企業向け融資や個人向け住宅ローンの返済を3年程度猶予する「モラトリアム法案」が話題になっているが、モラトリアムとは、法令により金銭債務の支払いを一定期間猶予することである。（支払猶予令：天災、恐慌などの際に起こる金融の混乱を抑えるため、手形の決済、預金の払い戻しなどを一時的に猶予する。日本では関東大震災後（1923年、震災手形を参照）と昭和金融恐慌（1927年）の際になされた。）

一方心理学では、学生など社会に出て一人前の人間となる事を猶予されている状態を指す。本来は、大人になるために必要で、社会的にも認められた猶予期間を指す。日本では、社会的に認められた期間を無為に過ごしたにもかかわらず猶予を求める状態を指して否定的意味で用いられることが多い。

かつて、モラトリアムは一定の年齢に達すると終結し、それ以後は、一定の職業、特定の配偶者、社会組織、役割としっかり結び合い、安易なやり直しがきかないことを覚悟した倫理的な人生であり、ここでは義務の遂行と社会的な責任が問われることになっていた。さらに、かつてのモラトリアムという立場は、半人前ゆえの種々の制約のため、一刻も速く抜け出したいものであった。

今は、モラトリアムに有る立場が居心地の良いものに変わり、もはや禁欲や差別はなく

労働生産しないで、受け取り、消費することに専念してよい「社会的な猶予」感覚が、情報化・消費社会の特性と一致したのである。

モラトリアム傾向の増加は、「自分の将来に夢や希望が持てない」、「不況だから、いくら頑張っても就職できない」、「将来を考えるのはもっと先の話」、「主体的に自分の進路を決められない」、「正規の職業に就くのはいやだ、もう少し自由でいたい」と考える若者が増えたからだといわれる。

今年度のような就職難になると、取り敢えず専門学校へ進学する者や、就職試験に失敗したのでやむを得ず進学する者、フリーターを選択する者が増加する。現在の高校生の中には、社会のモラトリアム構造にはまり、退学傾向を持ったり、職業や将来を捉えにくくなっている生徒達がいる。学校教育の中で、生徒個々の早期の進路目標設定と勤労観や職業観を育成することが課題である。



11月行事予定



- 4日(水) 献血
- 5日(木) 生徒会議案書審議
母親委員会
- 6日(金) 三陸ものづくり産業フェア
見学(1年)
- 11日(水) P T A 理事会
- 12日(木) 防災訓練
- 13日(金) ~ 17日(火) 第3期定期試験
- 19日(木) 後期生徒総会、定例職員会議
- 20日(金) 計算技術検定試験
- 26日(木) 月曜日授業
- 27日(金) 性教育講演会(1年)
- 28日(土) 月曜日授業、課題研究発表会
- 30日(月) 代休

生徒会役員決定

10月15日(木)に生徒会役員選挙が行なわれ、立候補した全員が新役員に信任されました。新役員は、右の表のとおりです。どの立候補者も立会演説会では、学校をよくしたい、学校を変えたいと訴えていました。

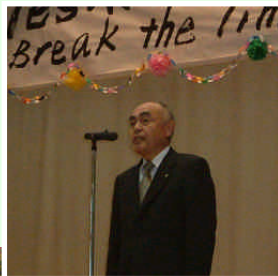
さっそく工業祭という大きな行事がありました。これから1年間、苦労も多いと思いますが頑張ってください。

また、生徒全員で生徒会を盛り立て、楽しく充実した学校生活を送れるようにしましょう。

会 長	大 井	拓 美	(建築設備 2年)
副 会 長	坂 下	千 織	(建築設備 2年)
	大須賀	龍 太	(電気電子 1年)
書 記	菊 池	友 輝	(電気電子 2年)
	牧 野	遥	(電気電子 1年)
会 計	貫 洞	勇 樹	(電気電子 2年)
	古 里	隆 佑	(建築設備 1年)
会計監査	内 藤	航	(機械 2年)
	久 坂	拓 磨	(機械 1年)
応援団長	岩 間	卓	(機械 2年)
議 長	佐々木	優 雅	(機械 2年)
副 議 長	佐々木	廉	(機械 1年)

第22回工業祭開催

10月24日(土)、25日(日)の2日間、工業祭が開催されました。各工業科の展示の他、委員会・部活動展示、宮工一心太鼓演奏、ロボット実演、母親委員会によるバザーなど盛りだくさんの内容でした。天候にも恵まれ、2日間で705名の方に来校いただきました。



岩手県工業高校ロボット競技大会結果

10月9日に奥州市で行なわれた大会の結果です。

- 7位 宮工MO9(機械科)
- 8位 機桐熊(電気電子科)
- 10位 宮工ファシリティ7号(建築設備科)
- 12位 太郎と熊(機械科)

2年生 インターンシップ

10月7日～9日の3日間、2年生98名が45事業所に分かれ、インターンシップが行なわれました(一部は翌週実施)。台風の襲来もありましたが、各事業所のご協力の下、貴重な体験をさせていただきました。今後の学習活動、進路活動に役立たせましょう。